



りんくだより

2017/7/1 第9号

ご挨拶

紫陽花が美しい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。りんくでは就職に向けさまざまなプログラムに取り組んでいます。今回は、グループコミュニケーション、新たにりんくだよりが出来上がるまでを加え紹介したいと思います。新しく生まれ変わったりんくだよりをお楽しみください。

◆グループコミュニケーション◆

グループコミュニケーションとは

- グループコミュニケーションプログラムは、業務外でのコミュニケーションの取り方を学ぶことを目的としており、一年間で4～5回行っています。
- 今までにスポーツ、古墳公園の散策、麻雀、クッキー作り、お菓子のパーティー、人生ゲーム、忘年会などを行いました。
- レクリエーションを通し、気持ちが前向きになり交流しやすくなりました。
- メンバー同士話し合っレクリエーションの内容を決めていましたが、今年の4月からは、スタッフ企画のレクリエーションが新しくできて、今までより盛り上がるようになりました。

花見

- 水無川沿いでお花見を開催しました。プログラムでのコミュニケーションだけでなく、この行事を通して、催し物で盛り上がり、ジョークを言い合えて大笑して楽しめました。
- お菓子のチョコが溶けたり面白いトラブルもありましたが、メンバーをより知ることが出来て、絆が深くなりました。
- 桜が2部咲と残念ではありましたが、楽しい時間を過ごせました。
- 体調が悪かったり、都合がつかなかったメンバーがいたので残念でした。

(メンバーからのアンケートを元に作成しています。)



りんくのメンバーと記念の一枚です。



麻雀を初めてする人でもわかりやすく教えながらみんなのにぎやかにゲームしています。



メンバー全員で会話しながら楽しくやっている様子。

◆りんくだよりが出来上がるまで◆

りんくだよりは、おかげさまで、この9号をもって創刊2周年を迎えます。当初は、メンバーが持ち回りで編集長を務め、基本的なたよりの方向性やねらいを決めていました。回を経るごとにメンバーの話し合いのウェイトも大きくなり、書き方の進化を続けて大まかな流れが見え、現在に至っています。ここでは、プログラム紹介から発展した、りんくだよりそのものを取り上げる、「りんくだよりが出来上がるまで」をご紹介します。

○りんくだより作成のねらい

りんくだより作成のねらいは、メンバーそれぞれが話し合いや共同作業を通じて、職場での職務能力、報連相などのソーシャルスキルとともに、相互のコミュニケーション力を高めあい、確認することで、これらが大きな位置を占めます。りんくだよりが出来ていくプロセスで、スタッフとも相談しながら、職場での力を身につけていきます。あわせて、コンピュータスキルや文章作法も相互に学び、履歴書作成などに反映させます。

作成の流れ

宛名書き

宛名書き

りんくだより作りは封筒の準備から始まります。中でも宛名書きは、「秦和会を代表すること」になるため、メンバー一同大変気を付けている作業です。下書き、清書それぞれにリーダーを決め、メンバー手作りの送付先リストに基づき、マニュアルを参照しながら手順よく作業します。

記事作成

記事作成

記事の選び方についても話し合いを活発に行い、過去に取り上げたもの、就労に役立つ社会動静も交えて、りんくをうまく紹介できる記事を作成していきます。アンケート取材やその結果をわかりやすくグラフ化し、写真や画像を入れて紙面を華やかにすることもあります。

記事修正
・校正

記事修正・校正

意見交換からアイデアを募り、話し合いを重ねる中で紙面が出来上がり、りんくのスタッフや病院事務長のアドバイスを経て完成します。

封入・
切手貼り

封入・切手貼り

できあがった「りんくだより」は丁寧に三つ折りされ、事業所案内とともに封筒におさめられ、郵送されます。どう読んでいただけるか、不安と期待の一瞬です。



記事作成の様子



封入の様子

まとめ

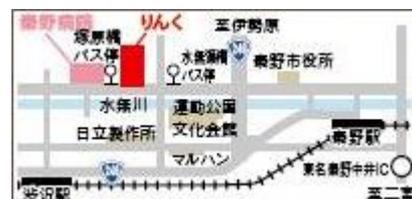
いかがでしたでしょうか？これが「りんくだよりが出来上がるまで」です。私たちも今回の記事作成を通じて、新しいメンバーに手順を伝えることができたと思います。今後もりんくだよりの一層の進化に、メンバー一同頑張ります。

編集後記

今号では、「グループコミュニケーション」と「りんくだよりが出来上がるまで」を取り上げ、後者で新しい境地を開拓しました。メンバー一同難しく感じる部分もありましたが、学ぶこともたくさんあったと感じています。次号のりんくだよりに向けて学んだことを生かせるよう、精進してまいりますので、次号にもぜひご期待ください。

編集メンバー一同

医療法人社団 秦和会 就労移行支援事業所 りんく
所在地：神奈川県秦野市三屋 124 秦野病院ケアセンター内
TEL：0463-75-6308 FAX：0463-75-6303
URL：<http://www.hatanohp.or.jp>



※りんくだよりの作成はプログラム活動の一環として、スタッフの監修を経て、紙面の企画から発送までを全て利用者の皆様で行っております。